

ウチの子たちが

仲良く敗北して

イジメられる話

でゆう







大丈夫？

ユシア君

よ…余裕だよ！

こっちが
押してるけど

油断しないで…

うん

わかってる

わかってるん
だけど…

……っ

気が散るよお…

エグい攻撃
ばっかり…

…最近の女の子って
みんなああなの？

あのコは特別♥

あれでベッドの上では
可愛いのよー

あっちの男のコも
ちっちゃいクセに
なかなか…

やっぱり真っ向勝負は
分が悪いわね…

いたた…

彼女のスキを作る
ことができれば
いいのだけど…

何かいい方法は
ないかしら…？

かばつられて
ありがと♥

ん…

どういたしまして♥

あら♥

イケそうよ

♡ ｷｬﾂ ﾀﾞﾂ ♡

“魅了”

…っ!?

任せて…♥

ドクンッ



っ！

来るよっ！

……

…ユシアくん？

っ！？

ふっふっ

ふっふっ

ギン

何をしたの！？

ふふっ

ギン

ふざけないで…！

だれがそんな…

二人まとめて
ウチのコの
ごはんにしてあげる

てきめん
効くのよねえ♡

やらしいことを
考えているコには

淫魔が使う魔法…

想像つくでしょう？

捕まえた♡

あっ

敗因は「仲間の下心」

ってね

っ!!

薬…!?

今回は私の可愛い子供たちの
養分になってもらうわ

私が産んだ子を

あなたの魔力で育てるの

なんだか
素敵じゃない…?

力が…抜け…

意識も…

くは、

ユシ…ア…

く…





ん...んんっ

.....え？



あれ...？

僕...
どうなって...

確かシーラ達と
戦ってて...

そうだ！
十色さんは...

あゝ

っ
!?







あ…っ

や…

まって…



あ

なめちゃ…

やあ



ああ

んあ

ふふっ

主に感謝せねばな...

かつて自分を圧倒した
相手が情けなく喘ぐ姿を
見ることが

ぞくぞく

やめ...てえっ

これほど爽快
だったとは...♡

も...あ

る

ん

あ

ガク

ビク

カリ

カリ

ガク

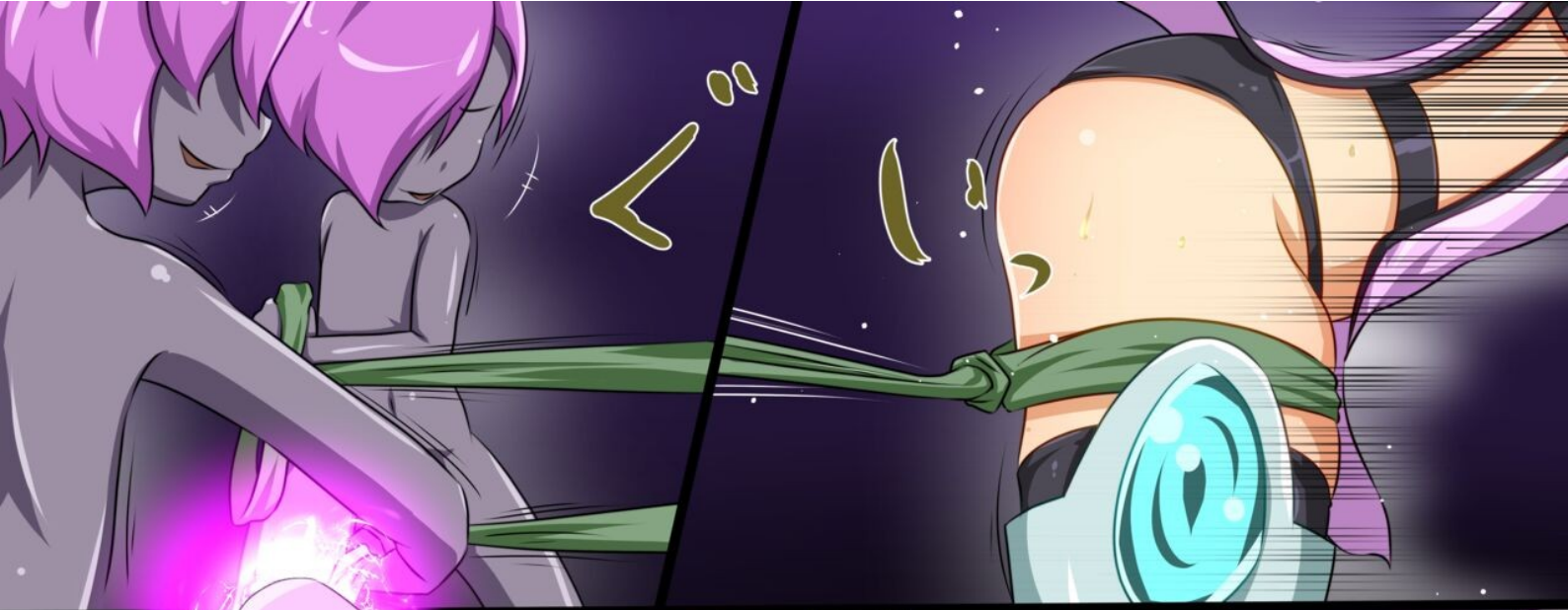


あゝあゝ

あゝあゝ

グッグッグッ

グッグッグッ



は...う...

...あ...っ

脚の力が
抜けているぞ？

いいのか...？

...ちよ...っと...

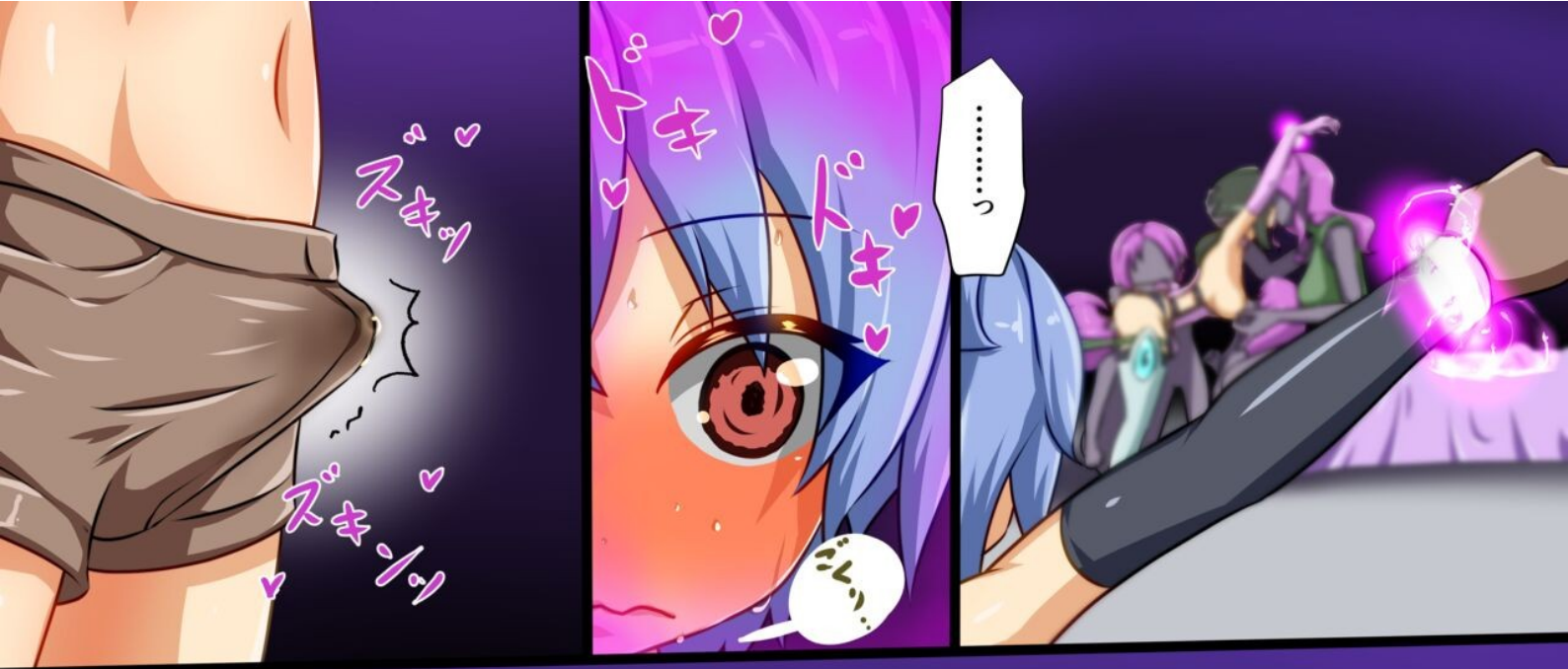
ま...って...

ム
あ













やめなごう！

話が違うっ！

私が耐えている間は
彼には手を出さないって...

あゝ

だめ

またイッ...
くっ

...誰が
耐えているって...？

くっ...
くっ

あはっ
私たちが悪いみたい
に言ってるけど

おねーさんの
せいだからね？

え...？

クッ
クッ



…え…?

ずっと…見て…?



おねーさんのやらしい姿を
ずっと見せられ続けて

おあずけなんて
かわいそうでしょう?



……っ



これはっ…

その…

あ…いや…



こっちもそろそろ
始めよっか…

あ…うっ



たくさん搾りとって
あげるね…♡



…さらに感度が
上がったな…

見られていると
自覚して興奮したか?

マゾ女め…♡



やめろよ

やめ

あ

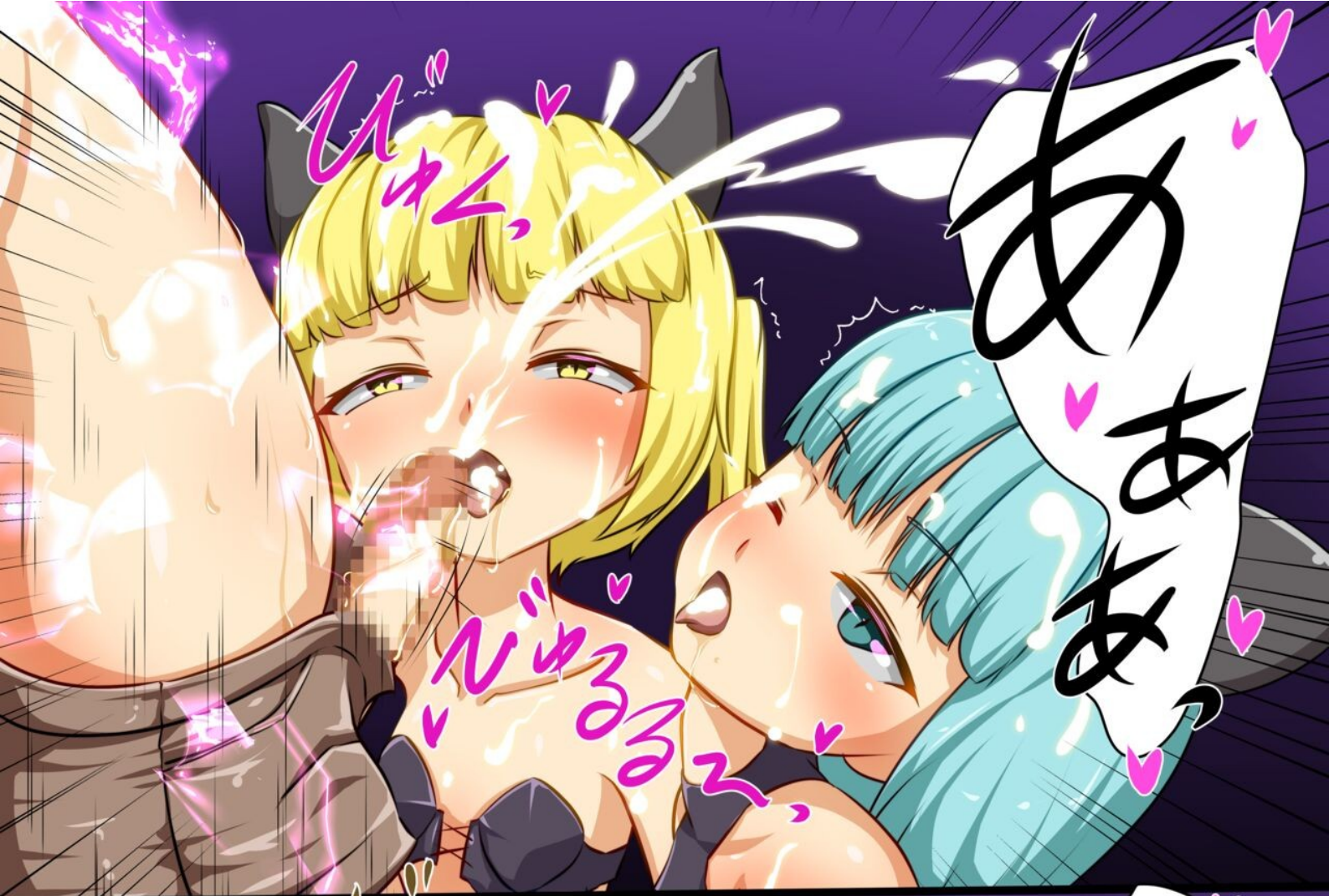


…悦んでるくせに…♡

あ

あ

あ

















はあ〜?

ヘコヘコ腰を振る
キミの姿が
あまりにも
みつともないから

押さえて
あげてるんだけど?

押し返されるの
わかってて
抜こうしてるよね...?

よかったね...
私たちのせいに
できて...



この無駄な抵抗は
あと何分続くのかな〜?

何秒...かな?

長持ちさせたいなら
腰を動かさない方が
いいんじゃない...?

ちがう...っ!



ナカに出す
わけには...っ!



我慢はよくないぞ...?

よく見ろ...



十色さんのナカ...
搾り取るように蠢いて...

挿れっぱなしが
一番ヤバいんだよお...



ここまで上質な女を味わう
機会などそうはない

味方となれば
なおさらだ...

しかし今なら全て
私たちのせいにする

お前は
何も悪くない



ユシアくん...

誘惑に負けないで...

はあ...
はあ...



彼女の体は柔らかくて
いい匂いがする...

最高の抱き心地だ...

魔力も濃く...甘い
他では決して味わえない

今を逃せば
次はないぞ...?

ほら...

しゃぶりついてみる





ユシアくん…

小さくても
男のコだ…♡

やめてえ

おおがい

あん

あん

あ



純粋な力勝負じゃ

だからといって…

全く敵わない…

ユシアくんを
魔法で攻撃する
わけには…っ



強力ゆえに味方に力は
ふるえまい…

反撃の機会を伺いながら
必死に残していた力は
少年に削り取って
もらおうしよう…

ひ…卑怯者おっ…♡

あん

あ

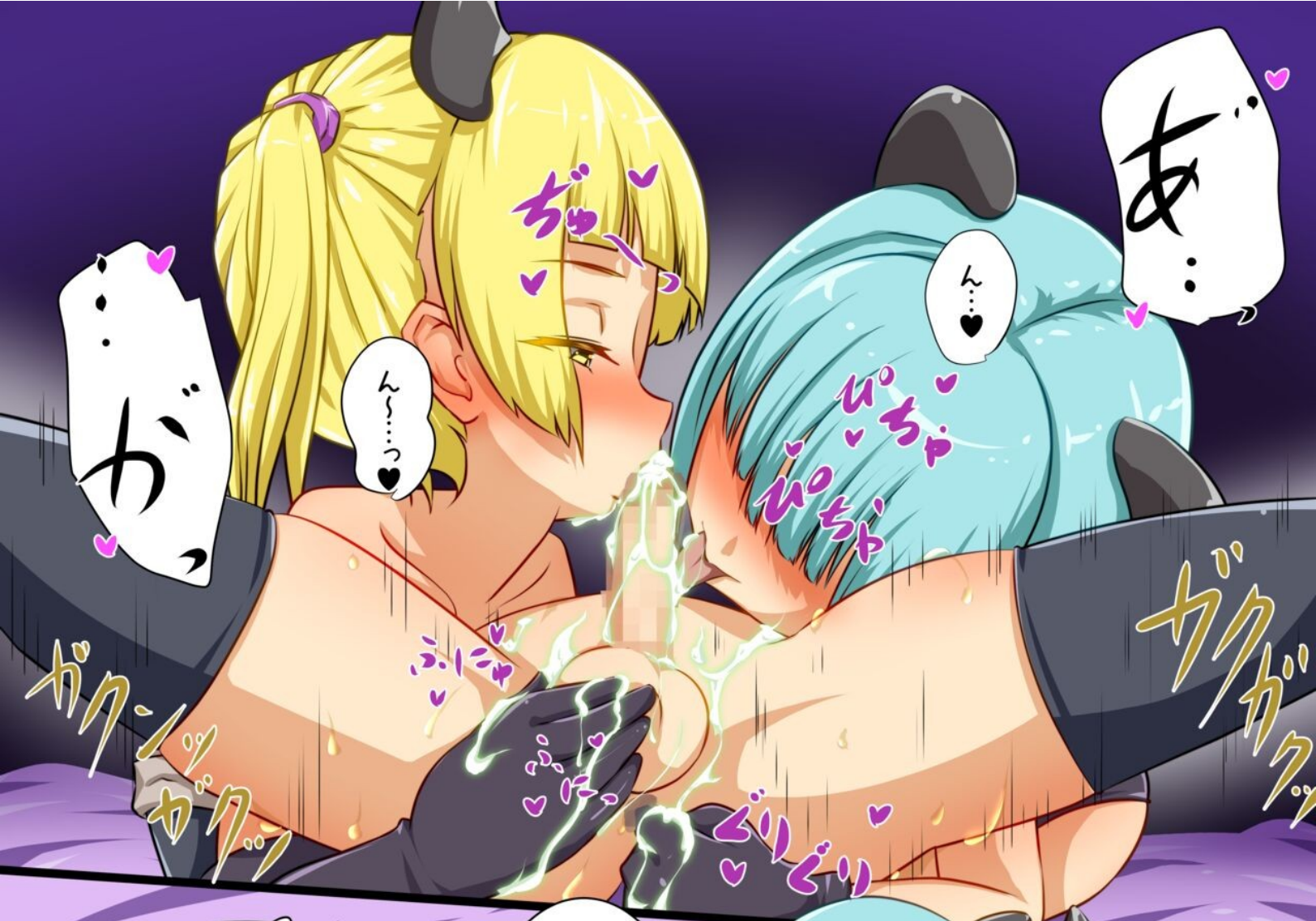
あ

あん

あ







あゝ

ん...♡

ん...♡

わ

ガクガク

ガクガク

弱ってても
私たちが
ねじ伏せるくらいの力は
残ってるくせに...

ん

あれ？

全然
抵抗しないね

お！

あゝ

やゝと
素直になったか

お望み通り
空になるまで
搾りとって
あげる♡

ん

少年は堕ちた
ようだな...

お前ももう限界
のようだが...

く...

最後まで諦めず
楽しませてくれ...♡

ほら...

もっと力強く
抵抗しないと...

ちろ♡♡♡

トドメを刺されて
しまうぞ...♡

く...う...

や...め...ろお



…逃がすのか？
ここまで衰弱させれば
洗脳して飼いならす
こともできるが…

そうだよ
もったいないよね

せっかく
捕まえたのに…

ふふ…っ
わかっていないわね

彼女たちは
今回の屈辱を糧に
力を蓄えてまた私たちに
挑んで来るわ

それを快楽で
ねじ伏せてあげるのが
楽しいのよ

あのコ達が泣いて
悔しがるような
卑怯な手段でね…♥

また遊びましょうね…
十色ちゃん♥

色々準備して
待ってるわ…♥

おしまい